

音名

	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド	
	Do	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si	Do	伊
	ツェー	デー	エー	エフ	ゲー	アー	ハー	ツェー	} 独
	C	D	E	F	G	A	H	C	
#がつくと	Cis	Dis	Eis	Fis	Gis	Ais	His	Cis	
bがつくと	Ces	Des	Es	Fes	Ges	As	B	Ces	
	シー	ディー	イー	エフ	ジー	エー	ビー	シー	} 英
	C	D	E	F	G	A	B	C	
#がつくと	C#	D#	E#	F#	G#	A#	B#	C#	
bがつくと	Cb	Db	Eb	Fb	Gb	Ab	Bb	Cb	
	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	ハ	} 日
#がつくと	嬰ハ	嬰ニ	嬰ホ	嬰ヘ	嬰ト	嬰イ	嬰ロ	嬰ハ	
bがつくと	変ハ	変ニ	変ホ	変ヘ	変ト	変イ	変ロ	変ハ	

音部記号

実音は同じ

ト音記号 ← ト音 男声の場合は1オクターヴ下げて演奏する

ト音記号
オクターヴァッサ ← ト音 実際の音は1オクターヴ下げて演奏する

ハ音記号 ← ハ音

ハ音記号 ← ハ音 八音を表示
(この例はアルト記号と呼ばれる)

アルト（高い）はなぜ低い？

ソプラノ (Soprano, 伊) やアルト (Alto, 伊) は、19世紀後半まではボーイソプラノ、カストラート (Castrato, 男性の去勢歌手) やカウンターテナー (すべて男性) が歌っていた。従って Soprano も、Alto もイタリア語で男性名詞である。カストラートは16世紀から女人禁制の教会合唱に用いられ、更にオペラの女役に使われて優秀な男性ソプラノ歌手が数多く活躍したが、フランスのナポレオン一世 (Napoleon Bonaparte, 1769~1821) が、カストラートは人道的立場から好ましくないと考えてこれを禁止し、女性の歌手が誕生した。それ以降オペラや合唱でも Soprano, Alto は女性の役割となった。「高い」という意味の Alto も女声部では低いパートになった。